

# 掃除に学ぶ会活動報告

## 汚れた荒んだ心を真っ白に



東葛掃除に学ぶ会幹事 桜井修三



動したものです!! トイレ掃除”を”学ぶ会ではなく、トイレ掃除”に”学ぶ会とは、こういうことだったんだと、なるほど、みんながイヤガル!! 誰もやらない!! 見向きもしない!! こういう所を新品同様にする事のすばらしさに、私の心も長い人生、心もこのように汚れきって、茶色に変色していたのかもしれないと気付き、”ハッ”とさせてもらいました。

目で見て、頭では汚くて、さわわりたくもない無視したいと思っても、手には勇気がある!! これからの人生、まだまだいろいろな、イヤな事、つらい事、悔しいこと、自分の心を傷つけてしまうこと、後悔や取り返しのつかない事をやってしまったりすると、すまなさと、申し訳なさが、多々あると思います。トイレ掃除”

に”学ぶ会の経験を忘れずにいれば、力強く!! 前向きに!! 後悔の念にしばられず!! しっかりと生きていく強さと、心の大きさ、すべての事に感謝できる人生を送ることができます。心から役員、リーダー、鍵山秀三郎先生にお礼を申し上げ、必ず、トイレ掃除”に”学ぶ会の理念を心に抱いて、生きて行く覚悟です。



心が磨かれる  
心を取り出して磨くわけにはいかないので、目の前に見えるものを磨く。特に、人のいやがるトイレをきれいにする、心も美しくなる。人は、いつも見ているものに心も似てきます。

ある市の高校のトイレには、今も思い出すと、イヤ臭くて汚れていたっけなあ〜と、今でも思い出されます。私の担当の洋式トイレは、だれも使いたくなくなるほど『水アカ』『茶色』で汚れきった、ドアをすぐ閉めたくなるような状態でしたが、まったく!! 『格闘』したことが懐かしく思い出されます。掃除のあと、ピカピカ、新品同様の青白いホーローの独自の美しさを取り戻した時は、思わず、やった!! よくまあ〜!! こんなにキレイになるものだと感



## 編集後記

この新年号には3つの特徴を出してみました。その1つは会員さんからの寄稿の事です。それは桜井さんからのもので4頁に掲載させてもらいました。これは先の号に掲載予定のものでしたが、次回の号でも会員さんからの寄稿を大いに掲載させて頂きますので、寄稿よろしくお願ひ致します。

2つめは先生方の考察文を掲載させて頂いた事です。トイレの掃除実習を行っての先生方の取り組みにおける感動や気づきや達成感などを大切に、それらを児童生徒の指導に役立てて行こうとするものです。そして最後は千葉各地区掃除に学ぶ会の活動状況と、それに対する考察の事です。今回は印旛掃除に学ぶ会と山武掃除に学ぶ会のものを掲載させて頂きました。おのおのの特色が余す所なく述べられていまして、興味津津です。尚同封の”清風掃々”はNPO法人



日本を美しくする会の機関誌です。ご愛読くだされば幸いです。

長谷川 昭次



NPO法人  
千葉を美しくする会  
千葉のトイレをきれいにして  
世の中の汚みを皆で無くしよう

# 千葉を美しくする会

## 新年のご挨拶



理事長 利 清二郎



会員の皆様、あけましておめでとうございます。昨年中は種々お世話になりまして、実に有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年四月に理事長を拝命して早九か月が過ぎましたが、昨年一番の思い出は九月に「日本を美しくする会・全国大会」が盛大に行われ、そのお手伝いが出来たことと、又新たな

学びが出来たことだと思っております。それから、11月末には事務局員石井女史が定年退職となり、代わりに日本企画(株)の顧問であります「利 和則」氏に着任していただきました。氏は石井女史同様パソコンを自由に使いこなし、諸資料作りなどはお手の物で、かつ京葉掃除に学ぶ会では専ら道具の管理などをしており、本当に貴重な存在であります。

そのような万能の事務局と前理事長長谷川氏と強力なト

リオで今年も邁進して参ります。どうか本年も昨年同様、ご支援ご指導を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。又、会員各位のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶と致します。感謝。



## 平成29年度 掃除に学ぶ会活動および支援状況 (2017年7月~12月)

開催日	開催場所	実行委員長	世話人地区	参加人数
7月18日(火)	麗澤大学	富田裕之	れいたく	20人
7月29日(土)	富里市立富里北中学校	日暮尚子	印旛	74人
8月26日(土)	富里市立富里中学校	小野明子	印旛	55人
9月 2日(土)	全国大会 in 東京 築地市場	利 哲雄	関東ブロック&日本企画(株)	789人 (内157社員)
9月 3日(金)				
9月 6日(水)	君津市立貞本小学校	行方 誠	上総	70人
9月19日(火)	モラロジー研究所	富田裕之	れいたく	18人
10月12日(木)	旭中央小学校	山本三男	山武	129人
10月14日(土)	印西市立印旛中学校	佐藤耕一	印旛	53人
10月24日(火)	麗澤大学	富田裕之	れいたく	15人
11月21日(火)	モラロジー研究所	富田裕之	れいたく	15人
11月30日(木)	八日市場第1中学校	山本三男	山武	91人
平成30年度千葉地区掃除に学ぶ会実施予定 (3月迄の)				
1月23日(火)	麗澤大学	富田裕之	れいたく	



## お問合せ先

年2回発行(1月1日・7月1日) 発行所 NPO法人 千葉を美しくする会  
 〒273-0005 船橋市本町6-21-16(日本企画棟内)  
 発行責任者 利 清二郎 TEL:047-426-0026 FAX:047-426-6071  
 編集責任者 長谷川昭次 URL: http://www.chiba-uthukushi.globs.jp/  
 編集担当者 利 和則

# 印旛掃除に学ぶ会の活動を通して思う事

印旛掃除に学ぶ会代表世話人 鈴木 正一

当初は自分磨き・自分を高めることで学校経営に生かせるのではないかとやっていたのですが、しだいに先生方や子供たちに同じ体験を通して、充実感、満足感、自信、一体感(つながり)を持てるのではないかと、当時現職校長4人で立ち上げることにしたのでした。

校長が変われば学校が変わるとか、教師は子供の教育に当たって率先垂範が大事というが、教師の実際の意識は、私教える人、生徒教わる人という上から目線で傲慢、プライドの固まりです。私自身若い頃はあつてはならない体罰をしたことも何度かありました。反面、鍵山掃除道ではただひたすら下座に伏し、褒めることに徹するという

教育(人を育てること)の本質を教えて頂きました。

その後世話人仲間も増えて現在は13人となり、毎回のよう



私たち「印旛掃除に学ぶ会」は平成15年に、先輩諸氏の絶大なるご支援の下、東葛、京葉、千葉中央、上総、山武に次いで千葉県で6番目に誕生しました。私のトイレ掃除のきっかけは、先輩校長の何回目かの誘いにしぶしぶの参加でした。その最初の体験で大きなショック、目から鱗でした。ただひたすら磨く無我の境地、終わった後の爽快感、何とも言い表せない満足感がありました。

\*\*\*\*

## 《先生方の受け止め》

\*\*\*\*

### 掃除に学ぶ会を終えて

まず始めに大変暑さの厳しい中、私たち富里中学校に関わる生徒、教員たちに普段はなかなかできない貴重な経験をさせていただきありがとうございました。自分たちの目を見て、そして実際に掃除をするということを通して多くのことを学べたように感じます。

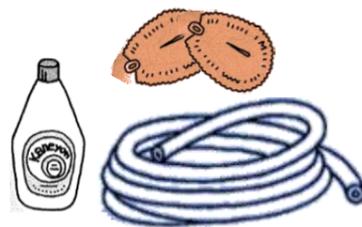
私自身今回の「掃除に学ぶ会」が初めての参加だったので素手でトイレを掃除するということに驚きました。おそらく生徒たちはもっと驚いていたでしょうし、正直なところ抵抗が非常にあったと思います。けれど、黙々と掃除をしていくうちにきれいになっていく喜びやどうやったらもっときれいになるだろうかと夢中になっていく自分を見つけることができたようでした。私を含め生徒たちも確かにこの短時間のうちに意識が変わったことに気

づきました。作業の内容としては私たちの班では水漉しを掃除しました。作業を始めた頃にはおいや汚れのついた目から中々手が進まないこともありましたが、一つ一つの段階を踏んでいくうちに徐々にきれいになり、最終的にはきれいになった水漉しに愛着さえわいていた様子でした。

実際の生徒たちの意見としては「大変だったけどきれいになると嬉しかった」というものや「細々とした角にこびりついた汚れや、なんどもこすらないと落ちない汚れを落とすのが大変だった」、「素手で触ったことでぬるしたものがツルツルになるのがよく分かった」などと大変さもあつたようですが、やって良かったという好意的な意見が多かつたように感じます。これらのことから、今回の体験をした

生徒たちはきっとトイレの使い方が変わるのではないかと思います。また、これからさき何か困難にぶつかった際には他の生徒ならば思わず逃げてしまうような場面でも、できることを一つ一つやろうと考えられるのではないかと思います。

最後に掃除を通して自分と向き合うことができたと思います。今回学ぶことができたことを忘れずに、また参加できなかった生徒たちにもすこしでも伝えることができればと思います。今回は本当にありがとうございました。



## 掃除に学ぶ会に参加して

富里市立富里北中学校 教諭 小山純平

今年度、初めて掃除に学ぶ会に参加して感じたことが3つあります。一つは生徒たちの様子です。どの生徒もとてもよく集中して、黙々と作業を行っていたことに驚きました。野球の強豪チームが集中力を高めるため取り入れているという話を聞きましたが、理由が分かった気がします。

二つ目は自分の心境の変化です。便器を素手で洗うと聞き正直かなり抵抗がありました。しかし、磨けば磨くほど便器がきれいになっていくので、もっと磨いてきれいになりたいという気持ちに自然に変わっていきま



三つ目は、生徒との関係の変化です。今日、初めて話すような他学年の生徒も、一緒にトイレ掃除をし、きれいにした達成感を共有したことで、生徒達との間に絆が生まれた気がします。その後のお昼の時間もとても楽しいものとなりました。本日は本当にありがとうございました。

## 掃除に学ぶ会活動報告

### 「大網駅前清掃について」

「大網駅構内はわかりにくいし危ない!」地域の方のこんな声がかきつけだったと思う。大里職員と地域の方で、早朝6:30から8:00まで駅構内の交通整理を始めた。毎日2名づつ黄色いジャンパーを着て、「バスが入ってきますので、乗り降り以外の駐停車はご遠慮ください!」そんな風に一台一台に声をかけながら、やったことのない誘導をして10年を過ぎた頃、大網白里市行政が交通誘導員を雇ってくれた。大網駅前に立つことで気がついて始めた吸い殻やガムをはじめとするゴミ拾

いや「狭い古いは恥ではないが汚い乱雑は人の恥、私たちはこのトイレを心をこめて掃除します」と札に書いて始めた「駅前トイレ掃除」は、毎週日曜日の早朝に今も続けている。「草が生えるのは、縁石の砂が原因」そう気づいて縁石の砂上げも車に気をつけながらやるようになり、草ボーボーだった東金線路の土手にみんなでお金を出し合って植え始めた草花も今は年に2回、毎回1000ポットの苗を植えることで、いつでもきれいな花が咲いている。クリスマスシーズンになると飾られるイルミ

山武掃除に学ぶ会代表世話人 野老真理子

ネーションの飾り付けも、その取り付け取り外しも含めて定番になった。「ここは私たちの駅」「ここは私たちの街」こんな言葉を心底その通りだと実感する。毎回掃除終了後にお茶を飲みながら一話をし合うときのみんなの笑顔が大好きで、その笑顔に私はどれほど励まされたことだろう。我が時間や我が手を使って得られる達成感ややりがいを感じる幸せを味わう。



### 「29年度 学校トイレ掃除実習について」

「山武掃除に学ぶ会」の事務局を大里で引き受けているので、圏内学校掃除実習の依頼は大里に入り、その度に担当が学校と打ち合わせて日程を調

節する。日程が決まると要員数が張り出され、100人を超える規模になると当日は丸一日、事務所は数人の電話当番を残してこぞって学校に出かける。事前の道具準備や後片付けはその度にそれ以外の日にちで若手職員が協力して、掃除実習で押し出された仕事は夜遅くまでの残業や早朝休日出勤でうまくやりくりされ、その全てが当たり前のようにすぎている。そんな学校実習は年間10

回ほど。経営者としても山武掃除に学ぶ会の代表としても、参加協力してくれる職員さんたちの献身的な努力に日々頭が下がる。そんな学校掃除実習をやるようになってかれこれ20年以上経った。それにしても、閉会式の時の子供達の感想は毎回私たちの心を初心にかえらしてくれ、お礼に歌ってくる私たちの合唱も山武掃除に学ぶ会の定番になった。



道具は、トイレ出入口側から使用頻度の高い順に

